



平成 22 年 10 月 14 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 ラ ン ド
 代 表 者 の 代 表 取 締 役 社 長 松 谷 昌 樹
 役 職 氏 名 (コード番号 8918 東証第一部)
 問 合 せ 先 常 務 取 締 役 管 理 部 長 佐 瀬 雅 昭
 電 話 番 号 0 4 5 - 3 4 5 - 7 7 7 8 (代 表)

平成 23 年 2 月 期 第 2 四 半 期 に お け る 特 別 損 失 の 計 上 及 び
平成 23 年 2 月 期 第 2 四 半 期 連 結 累 計 期 間 業 績 予 想 に 関 す る お 知 ら せ

平成 23 年 2 月 期 第 2 四 半 期 連 結 累 計 期 間 業 績 予 想 に つ き ま し て、下 記 の と お り お 知 ら せ い た し ま す。

記

1. 平成 23 年 2 月 期 第 2 四 半 期 連 結 累 計 期 間 業 績 予 想 (平成 22 年 3 月 1 日～平成 22 年 8 月 31 日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	四 半 期 純 利 益	1 株 当 たり 四 半 期 純 利 益 (※)
	百 万 円	百 万 円	百 万 円	百 万 円	円 銭
前 回 発 表 予 想 値 (A)	—	—	—	—	—
今 回 発 表 値 (B)	4,697	80	△357	△5,718	△86.94
差 額 (B－A)	—	—	—	—	—
差 額 率 (%)	—	—	—	—	—
(ご 参 考) 前 年 同 期 実 績 (平成 22 年 2 月 期 第 2 四 半 期 連 結 累 計 期 間)	10,173	△1,340	△2,911	△3,352	△120.37

2. 概 要

当 社 グ ル ー プ の 平 成 23 年 2 月 期 第 2 四 半 期 連 結 累 計 期 間 の 業 績 予 想 に つ き ま し て は、不 確 定 要 素 が 多 く、確 定 す る に 至 ら な か っ た た め、未 定 と し て お り ま し た が、業 績 の 動 向 等 を 踏 ま え、公 表 で き る 見 込 み が 立 ち ま し た の で お 知 ら せ い た し ま す。

平 成 23 年 2 月 期 第 2 四 半 期 連 結 累 計 期 間 に お き ま し て は、当 社 グ ル ー プ の 事 業 の 柱 で あ り ま す 首 都 圏 で の マ ン シ ョ ン 分 譲 事 業 及 び シ ニ ア 住 宅 事 業 が 堅 調 で あ る こ と か ら、売 上 高 は 4,697 百 万 円 と な り ま し た。ま た、債 務 圧 縮 の 一 環 で 物 件 の 売 却 損 を 計 上 し た も の の、営 業 利 益 は 80 百 万 円 の 黒 字 を 維 持 す る 見 込 み で あ り ま す。

ま た、支 払 利 息 等 の 計 上 に よ り 357 百 万 円 の 経 常 損 失 と な る も の の、現 状、債 務 の 大 幅 な 圧 縮 を 積 極 的 に 進 め て お り、将 来 の 金 利 等 の 負 担 軽 減 が 期 待 さ れ ま す。

なお、平成 22 年 7 月 29 日付「固定資産の譲渡に関するお知らせ」にて開示いたしました物件の譲渡等により、固定資産売却損 4,618 百万円を計上したことに加え、固定資産の評価を見直し、905 百万円を減損計上したこと等により、5,793 百万円の四半期純損失となります。

しかしながら、本日付で開示いたしました「債務免除の合意に関するお知らせ」に記載のとおり、固定資産の売却により生じた損失の補填措置のうち、現時点までに約 27 億円の債務を免除していただける旨、債権者様と合意し、第 3 四半期において同額の特別利益を計上する見込みであります。

また、上記の他、既に担保物件の売却が完了し、当第 2 四半期までに当該物件の売却損益を計上済の無担保残債務約 39 億円につきましても、債権者様と引き続き協議を進めており、もう一段の債務圧縮と損失補填を目指してまいり所存であります。

なお、平成 23 年 2 月期通期連結業績予想値につきましては、本業であるマンション分譲事業及びシニア住宅事業が期初想定通り堅調であることに加え、固定資産売却損を大きく計上することとなったものの、債権者様からの協力も得て、一部債務免除に関して合意したこと、さらに無担保の残債務に関しても、債務の免除について継続協議を行っていること等を考慮し、期初予想を変更しておりません。今後協議の進捗に応じて業績予想値の変更の必要が生じ次第、適時に開示してまいります。

なお、本資料に記載されている業績予想数値は当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

※今回予想における 1 株当たり四半期純利益は、平成 22 年 8 月 31 日までの期中平均発行済株式総数により算出しております。

以 上